

第94回東京箱根間往復学生駅伝競走 ご報告

根岸祐太（経3・慶應志木）が関東学生連合のメンバーとして、8区（平塚～戸塚 21.4km）を走らせて頂きました。慶應義塾の選手が箱根駅伝に出場するのは、第82回大会で亀田健一が10区を走って以来、12年振りという快挙でした。当日は競走部OBOGは言うに及ばず、湘南三田会、茅ヶ崎三田会、藤沢三田会、鎌倉三田会、逗葉三田会の塾員を始めとする本当に多くの方々に応援に駆けつけて下さいました。強い向かい風の影響もあり、結果は設定タイムに3分ほど及ばない1時間9分38秒で区間19位相当（学生連合はオープン参加のため、参考記録）と、本人としては不本意なものでしたが、沿道で皆様に掲げて頂いたブルーレッドブルーの鮮やかな幟と大声援は、根岸にとって本当に大きな力となりました。



撮影：浅田哲生

根岸 祐太（経3・慶應志木）

10月の予選会から、11月の10000mの選考会、箱根駅伝当日と、たくさんのご声援ありがとうございました。オープン参加とはいえ、今後戦うことになるであろう他大学の選手に一つでも多く勝ちたいという気持ちで臨みましたが、想定したレース展開に持っていくことが出来ず、悔しい結果となってしまいました。

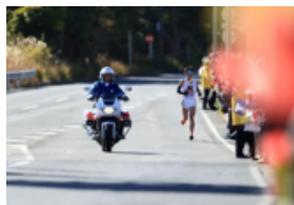
走りの内容としては、満足できない結果でしたが、箱根駅伝という舞台上に立てたことはとても大きなものでした。沿道の途切れることのない応援、慶應義塾の幟、中継所にいる有名なランナーたちなど、今まで出場したレースの中で最も迫力があり、来年も箱根路に帰って来たいという気持ち、慶應の襷を繋ぎたい気持ちが強く芽生えました。チームとしての箱根駅伝出場ラインまでは30分以上ありますが、不可能を可能に出来るよう、これからの1年間、箱根駅伝への想いを胸に個人としてもチームとしても精進して参ります。この度は多くに応援ありがとうございました。慶應義塾大学競走部の400本の幟と皆様のご声援が走る力になりました。

保科 光作（長距離ヘッドコーチ）

根岸が箱根駅伝に出場させて頂き、無事完走できたことを大変嬉しく思うとともに、日頃からお世話になっております皆様、当日ご声援を頂いた皆様、さらには出走が濃厚になってから当日までご準備をいただいた皆様に、本当に感謝申し上げます。

根岸はレースの直後に、「来年、チームとしての本選出場が厳しい状況でも、可能性が0.1%でもあるならそれに向けて死ぬほど努力する」と言ってくれました。そのコメントを聞いて、箱根駅伝を楽しんでくれてよかったという気持ちと、彼をそこまでしてくれるこの大会を、1人でも多くの学生に経験させたいという思いが生まれました。

本来であれば、その気持ちは箱根駅伝を目指すチームの指導者としては常に持ち続けなければいけないものであったと再認識させられました。常に学生には「取り組み方」「考え方」に関して指導をしておりますが、この大会を経て、私自身の「取り組み方」「考え方」を再度見直す機会を頂けたと思います。本年もチームとしての本戦出場に向け、昨年以上の情熱を持ち指導させて頂きますので、今後ともご支援、ご指導のほど宜しくお願いいたします。



撮影：有川秀明

佐伯 拓海（長距離ブロック長・環3・松本深志）

2018年1月3日、箱根駅伝、8区8キロ地点。1年生の頃から共に練習してきた根岸が、僕の前を通り過ぎて行った時、自然と僕は泣いていました。長距離選手であれば、誰もが夢見る箱根駅伝の舞台上に同期が走っている。その事実が僕には大変嬉しいものでした。根岸が今までどれだけ苦労したのかも知っています。だからこそ、根岸が走っている姿をみて、本当に嬉しく、感動しました。と同時に、箱根駅伝へ出場したいという気持ちも大きくなりました。

根岸はもう一度、今度はチームで箱根駅伝に出たいと言ってくれています。根岸が学生連合で出場する箱根はもうないかもしれませんが、慶應の根岸として出場することはできます。その可能性を少しでも大きくするために、そして慶應義塾として箱根駅伝に出場するために、これからもチーム一丸となって頑張っていこうと思います。



撮影：小島弘毅

林 里穂（長距離マネージャー・文3・栄東）

この度は温かいご声援をありがとうございました。私は昨年長距離マネージャーとなり、練習や試合、1か月にも及ぶ長期の合宿などで、根岸をはじめとする長距離選手たちの努力を間近で見してきました。そしてその努力を知っているからこそ、選手たちには結果という形でOBOGの皆様や周りの方々へ「頑張った」ことを証明してほしいと思っていました。結果として、予選会で塾記録更新という目標を達成した選手たち、何より箱根駅伝出場を果たした根岸には本当に感謝しています。そして、根岸が箱根駅伝出場という結果で皆様に自らの努力や成長を証明したからこそ、1月3日にあんなにも多くの方が沿道に駆けつけ、根岸の背中を押してくださったのだと感じています。

早朝から応援に駆けつけてくださった皆様、テレビの前で応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。これからも応援していただけるような長距離ブロックを、選手と共に目指してまいりますので、宜しくお願いいたします。

スケジュール

2月	4（日）香川丸亀国際ハーフマラソン 根岸（経3）、田島（政2）、森下（理1）出場予定 10（土）～18（日）熊本合宿
3月	4（日）日本学生ハーフマラソン選手権（併催：立川シティハーフマラソン） 11（日）～21（水）沖縄合宿